



3 主に活用の力を育てる学習活動－【ワークシート資料B】を使って－

- ①ワークシート資料Aのコラムを級友を紹介するために、コラムの中で説明が必要な語句(「ちなんだ」、「川柳」、「恒例」等)を決め、国語辞典等で調べます。
- ②コラムの中で「いいな」、「共感できるな」という部分を書き抜き、その理由を書きます。
- ③コラムの内容をある程度飛躍させて、新しい自分の見方を「提案」として書きます。
- ④発表の際、級友からの予想される質問・反論を書き出し、その答えを書きます。
- ⑤4人一組で書いたものを交流します。
- ⑥「私の提案発表会」を行います。新しい自分の見方を「提案」として発表し、級友からの質問・反論にも対応します。

【ワークシート資料B】

00新聞

2年組番( )

1 級友に説明しなければならぬ語句

- (1) (6)
- (2) (7)
- (3) ( )
- (4) ( )
- (5) ( )

他人に説明が必要な語句を予想する力は、分かりやすく説明するために大切な力です。

生徒たちからは、短いコラムにもかかわらず、いろいろな部分選ばれます。また、同じ部分でも理由が違います。

2 私か「いいな」「共感できるな」と思った部分とその理由

このコラムの中で、私が「いいな」、「共感できるな」と思った部分は「  
」です。その理由は、

冒頭の川柳そのものを選ぶ生徒もいますし、悲哀を笑い飛ばすしなやかさを選ぶ生徒もいます。

3 私の提案 ※実際の提案例

1 適度なユーモアを心がけましょう。

川柳とは、俳句と同じ5・7・5音からなる、こっけい、風刺を主とした無季、つまり季語のない短詩です。「たまったなあ、お金じゃなくて、体脂肪」。お金がたまればいいのに、全然たまらない、たまるのは体脂肪だけ、という意味だと思います。私は、きっとこの作者は自分の肥満について自分の家族から明るく受け止められているのだと想像しました。なぜなら、もし病気につながるような肥満で深刻な状態であったら、日々気分も落ち込み、このようなユーモアは表現できないと思ったからです。逆に言うと経済的にも健康の上でも深刻な状態にある人やその家族がこの川柳を見たらどう感じるのかと、考えてしまいました。

ユーモアと不愉快さは紙一重だと思います。人間同士のコミュニケーションにおいて、会話を円滑にするためのものとしてユーモアがあると思いますが、度を過ぎると不快に感じる人もいます。ことを私たちは知っておかなければいけないと思います。ただ、私は、この作品は、適度なユーモアがあり、頑張るサラリーマンを応援するすばらしい川柳だと思いますが皆さんはどうでしょうか。

2 どんな時も明るく生きましょう。

人生、山あり谷あり、という言葉があり、士業はマの通りだと思います。私も、勉強も部活動も友達関係もうまくいかず、本当「提案発表会」では、「犬はいい。崖つぶちでも助けられ」、この川柳に「みんなそうなの」と聞いて、「くよくよして過ごすのも1日「提案発表会」では、その場で質問を受けながら答えるという緊迫感と現実味のある場を設けます。」「犬はいい。崖つぶち犬かっと思いませんか。崖つぶち犬」「家の父がよくそう言ってお酒を飲んでたことを思い出しました。

「悲哀」や「困難」を、何くそ何とかなるさと笑い飛ばすしなやかさ、たくましさを私たちはこれからつけていかなければならないのではないのでしょうか。確かに父が言うように泣いて過ごすのも1日、笑って過ごすのも1日なのであります。そう考えると毎日父が冗談を言いながらお酒を飲んでいます。「このオレに、あたたかいのは、便座だけ」、これは第2位の作品ですが、私も便座2号はいやだけれど、これからは少しは提案を「どんな時も明るく生きましょう。」とし、自身のつらかった経験や父親への感謝の気持ちを言葉にする生徒もいます。